

砺波市美術館 新館長挨拶



『ドーナツのように』

砺波市美術館長 小野田裕司

四月に美術館長となり、三ヶ月がたちました。よちよち歩いております。7月に入り、毎日のように幼稚園、保育所の年長から小学校の一、二年生が「子どもの造形アトリエ」のために美術館に通ってきます。ダンボールで迷路を作ったり、瓦屋さんが使う粘土で動物やお家を作ったりしてはしゃいでいます。粘土で靴や手袋を作る園児もいて豊かな発想に驚きます。市内の小学校が合同で来たグループの時には、自己紹介もありました。「私の好きなものはご飯です」という子や、「私の好きなものは踏み切りです」という面白い子もいました。このときの活動はボール紙を切って自分の分身を作るものでした。持ってきたTシャツや靴下を履かせて、もう一人の自分を完成させていました。

定年になって自分も少し創作活動をと、誘われるままに俳句をはじめました。二ヶ月に一回、出町ふれあいセンターの蓑毛句会に参加しています。60代はまだ若手です。先月高山の知り合いの陶芸店に行ったとき、「円空もかぶりついたか柏餅」と句が浮かび、新聞に投稿してみました。円空は江戸前期の行脚僧で飛騨地方には木彫りの円空仏が多く残されています。選者は「円空もかぶりつきしか柏餅」と文語調に添削し入選となり、1,500円の図書券が送られてきました。

食いしん坊である私は、食べ物を詠んだ句が目にとまります。

パンにバタたっぷりつけて春惜しむ	久保田万太郎
腸に春滴るや粥の味	夏目漱石
街に雨鶯餅がもう出たか	富安風生

昨年亡くなった歌人 河野裕子さんの本に、「本当に言いたいことは言わずに、歌はドーナツのように作ったらよろしい。真ん中の言いたいことは抜いて、六分目、七分目くらいに作っておくと、おのずから泉が涌くようにして器が満たされるのです」とありました。それを読んで彫刻家の舟越桂の言葉を思い出しました。「(作品のタイトルに) 選ばれる言葉は作品に含まれていて描かれていないこと。」舟越桂の作品は「冬にふれる」「凍ったはしご」「肩に残る声」「支えられた記憶」などのタイトルが付いています。日本画などでは余白が大切にされていますが、いつかはドーナツのような平明で余韻のある句が作れるようになりたいと思っています。

藤田和十展「夢想する幻灯世界-風土」

砺波市美術館学芸員 杉本 積

私は、9月3日から開催するとなみ野作家シリーズ3 藤田和十（ふじた・かずとう）展「夢想する幻灯世界-風土」の準備を進めています。

この、となみ野作家シリーズという展覧会は、砺波地域(砺波市、小矢部市、南砺市)で活動する優れた美術作家を紹介するシリーズ企画です。第1回展は、南砺市井波在住の彫刻家・横山豊介氏、第2回展は、小矢部市在住の現代美術作家・加賀谷 武氏を紹介しました。第3回展となる今回は、小矢部市在住の洋画家・藤田和十氏を取り上げます。



「湖のある風景」 1996年

藤田氏は、大正14年(1925年)高岡市西明寺に生まれました。旧制氷見中学校在学中に、洋画家で美術教師であった東一雄に出会い、師事します。その後は富山青年師範学校に進み、卒業後は小矢部市、福野町の中学校に美術教師として奉職しながら、制作活動と詩作を続けてゆきます。1962年から、美術団体である国画会を中心に発表をはじめ、77年には会友、97年に会員となります。

また、本館で開催している「となみ野美術展」にも、30年間毎年欠かさず出品し、91年には「となみ野美術大賞」を、昨年は洋画部門の部門賞を受賞し、旺盛な活動を続けています。その間にも、小矢部市芸術文化連盟会長などを歴任し、砺波地域の美術文化振興にも貢献されています。

藤田和十展を企画するにあたって、昨年の10月に小西前館長と私とで出品依頼に訪れた時には、ご高齢のため出品に難色を示されました。その後何度かご自宅を訪問する中で、ようやく個展を開催することにご承諾をいただきました。それから月に1度お訪ねして打ち合わせを重ね、3月末頃にかがった際には、国画会への出品作品を制作中でした。その時に先生は、作品を作り上げる気力の維持が非常に難しいと話をされていました。4月半ばを過ぎると、話し合いの中から大まかな展示プランが決定しました。

それは、ここ数年取り組んでいる(風土、月光、詩画)の3シリーズの近作、新作を中心に約60点で展覧会を構成することとし、過去を振り返る回顧展は行わないことになりました。それからは、先生自身による出品作品の選定と新作の制作を行っていただいております、つい先日に出品作品全てが揃いました。

藤田先生も仕事が一段落して余裕がでてこられたのか、展覧会期間中のイベントのアイデアを積極的に提案していただいております、実現にむけて努力しているところです。また、藤田和十氏の作品が、まとまった形で紹介されるのは今回初めてとなりますので、見応えのある展覧会を目指しています。

—編集後記—

先日、猛暑の名古屋へ「レンブラント」と「フェルメール」を観に行ってきました。日曜日でさぞかし黒山の人だかり・・・と思いきや、土日勤務が広まっているのか、案外空いていました。こんなところにも節電の影響が・・・と、感じました。さて、リニューアルした「友の会だより」いかがでしょうか？ご意見ご感想、お待ちしております。(M)